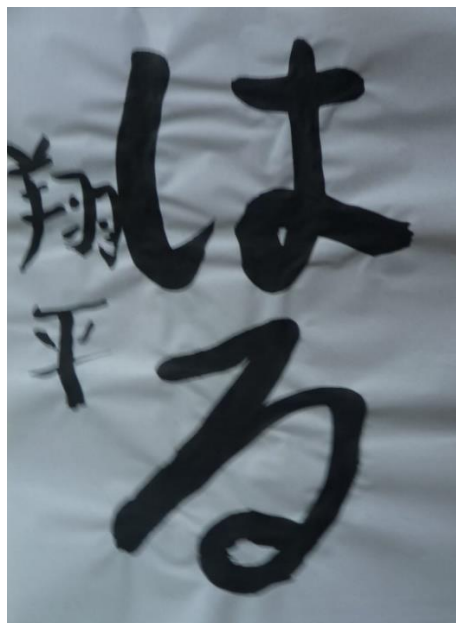


書道作品

評 藤波礼子



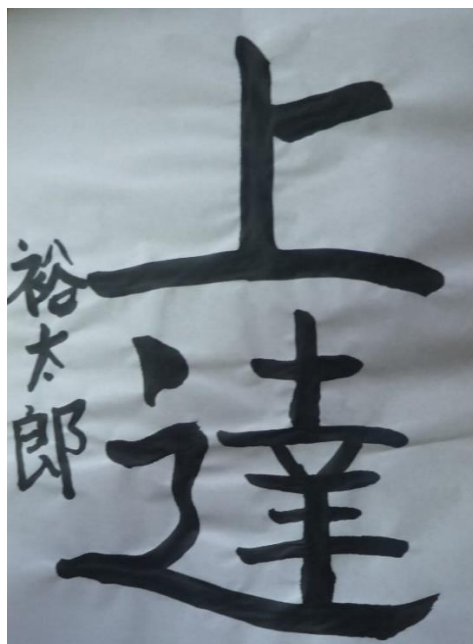
1年 H・H



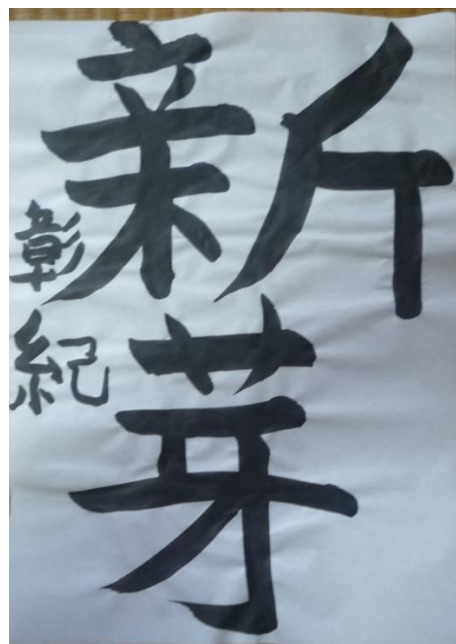
1年 K・S

Sくん 落ち着いていねいに書いています。勢いもあり、大きな気分で書けています。

Hくん 半紙いっぱいに伸び伸びと大きく書いています。中心が通りどっしりとしたよい字です。



5年 Y・Y



4年 H・A

Aくん 大きな気分で紙いっぱいに堂々と書けました。払いやはねの筆先まで心が通っています。

Yくん 筆を立てて伸びやかな線で書いています。空間も大きく、中心が通った立派な作品です。

【書き方の基本】

○点はていねいに。特に、方向、形、大きなことを考えてじっくりとていねいに書いて下さい。

○左はろいは速く。といっても筆のいれ方はゆっくりといれてしっかり立ててからぐうとハネます。字によってはぐうとハネたり、じっくりと長くハネたりします。一般に速くといふことです。

○右はろいはゆっくり。ゆっくりじっくりといひいて最後のハネは速くします。

○ハネ速く。ハネは速くといひいても始めからでなく、特に最後のピンとしたところを速くぐうとハネますと全体が生き生きとてきます。

○横はゆうゆうと、起筆にはいろいろと方法もありますが、筆を入れたら、少し引いて穂先を立てますから、少しゆっくりします。

○縦はどっしりと。縦は柱ですからゆっくりいれて、体ごとじっくりと引いてしっかりとめて下さい。

○画数の多い字は細目に、画数の少ない字は小さめに太く。

○画数の多い字の筆の入れ方や曲げるところや線は互いにゆすりあうように書き手す。

○作品は形より線質をみる、強さ、のび、厚さ、勢い等。

○とにかく手本を観ること、筆を立てること、体で書くこと、の三つを護ってじっくりとていねいに書いて下さい。